

連携医院のご紹介

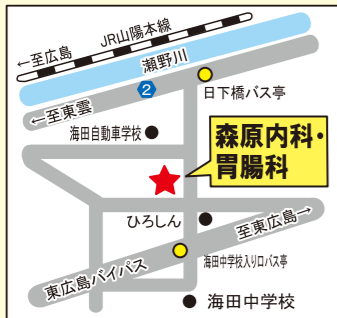
今回は「その人その人の生活における最適な医療」という、患者様のQOL（生活の質）を何よりも大切にしておられます森原内科・胃腸科、副院長の森原正雄先生です。



森原正雄副院長

森原内科胃腸科医院

〒736-0022
広島県安芸郡海田町蟹原1丁目13-11
電話/082-822-5550
FAX/082-823-7774
院長/森原 康雄
副院長/森原 正雄
診療科/内科・胃腸科



○いつ頃開業されましたか。

昭和53年の7月に父が開業しました。平成17年には私が診療に加わるようになったことでリニューアルし、内視鏡検査の設備も整えました。

○森原先生が毎日の診療で大切にされていることは何ですか。

患者さんのQOLにどうつながるのかをしっかりと考えて、検査や治療をするようにしております。また、生活習慣病の患者さんについては医院の前の薬局の栄養士と連携し、食事指導をお願いするようにしております。栄養士から食事指導についての報告もあり、大変、診療の助けになっております。

○現在、医院外で取り組んでおられることがありましたら教えてください。

現在、海田東小小学校の学校医を引き受けておりますが、結構、病院へ行ったほうが良い状態、行かなくても良い状態というのがしっかりと知られていないというのが印象です。少しの時間で良いので、保健指導の時間があると良いと思っております。特に、子どもの親にしっかりとした知識を伝えることで親から子どもへ、その子どもが親になってまたその子どもへ、というように正しい知識が伝わっていけばと思っております。

○開業医としてやりがいを感じる場所はどんなところですか。

地域医療を担う医院として、標榜している診療科だけでなく患者さんの身体全体、あるいは家族も含めた生活全体をみさせてもらっているところですかね。場合によっては患者さんやその家族の支援のために行政に働きかけることもあります。

○県病院についてひとことお願いします。

救急でいつも診ていただいているので、ありがたいです。患者さんは、ギリギリまで悩んだり耐えたりされるので、救急の状態になってようやくわかるということが多くです。



森原内科・胃腸科外観

【取材後記】

「今後は同じ年代の医師と協力して、在宅医療に力を入れていこうと思う」と、地域の方々を支えようとする熱意ある先生でした。

もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。

県立広島病院 で 検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

県病院の

ボランティアさん

紹介します!

小児病棟のプレイルームで子供患者さんのお遊びや、行事のお手伝いをしています!



病棟ボランティアの
児玉さんと
世羅さんです



県立広島病院からのお知らせ

クリスマスコンサート

とき 平成24年 **12月25日**(火)
14:30~15:30(予定)

ところ 中央棟1階 中央玄関ホール

内容 県立広島病院クリスマスコンサート

対象 どなたでもご覧になれます

問合せ先 総務課庶務係

TEL:082-254-1818

(内線:4228)



年末年始の休診のお知らせ

年末年始の外来診療につきまして、次の通りとさせていただきます。皆様には大変ご不便をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

2012年	12月28日(金)	平常通り診療します
	12月29日(土)	休診
	12月30日(日)	休診
	12月31日(月)	休診 ※内科・小児科のみ 8:30~17:00まで救急診療
2013年	1月1日(火)	休診
	1月2日(水)	休診
	1月3日(木)	休診
	1月4日(金)	平常通り診療します



※詳しくは県立広島病院ホームページへ 県立広島病院 で 検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

外来診療のご案内

診療受付時間

午前8時30分~午前11時00分
※午後の診療は科によって異なります。

休診日

土曜日・日曜日・祝祭日

紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,620円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診される待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。

★当院でボランティアを始めて何年になりますか？また、ボランティアを始めたきっかけを教えてください。

8年になります。きっかけは、自分や家族が入院した際、大変お世話になったことへのお礼の気持ちです(ちょっと恩返しできるかなと思って)。また、その時、味気ない入院生活の雰囲気なんとかしようと、病院のスタッフの方が色々季節感を出す工夫をされていました。そのことが印象に残り、お手伝いができたらと思い、始めました。

★ボランティアをされていて、楽しみにしていることは何ですか？

病院内でありながら「楽しい」時間を共有できることです。子供さんが笑顔だとお母さんも笑顔になりますし、逆に母さんが笑顔だと子供さんも元気になります。そんな素敵な時間です。お母さんや子供さんから「お遊びを楽しみにしています」と言われることがとても嬉しいです。

★逆に困ったことはありますか？

少々大変なのは、折り紙などのお遊びや、行事の内容を考えること(ネタ探し)です。おかげ様でレパートリーが増えました。

★座右の銘を教えてください。

『和顔愛語』。できるだけやわらかな笑顔で、やさしい言葉で人と接することを心がけています。(しかし、なかなか難しい…です)

★最後に一言。

細く長く続けさせていただければと思います。自分ができることをできる範囲で、お手伝いできたら幸せです。

インタビューは
児玉さんに
伺いました。



診療科だより

第22回

各診療科とコラボレーションして治療を行うことを心がけています。

小児外科

今回は、小児外科の大津主任部長にインタビューです!!

はじめに、「小児外科」について教えてください。

皆さんは小児外科という診療科があるのをご存じですか?一般のかたには小児科?小児科外科?などと問われることが多くあまり知られていない印象です。小児外科は、新生児から中学生までのこどもに対し、こどもの特性に応じた外科治療を行う診療科です。小児外科のある病院は多くはありません。また指導医と言われるプロフェッショナルは全国でわずか250人足らずであり、専門性が高い診療科です。参考までに全国区の人数の例としては参議院議員数242名、衆議院議員数480名、プロ野球1軍選手登録300人です。

小児外科では、どのような診療が行われていますか?

では“こどもの特性”とはどのようなことでしょうか?こどものからだはおとなのように完成したものではなく、肺・腎臓・肝臓など身体のあらゆる臓器が発育の途中にあり機能が未熟です。また、身体の機能の調節のしかたも不十分で、発育に伴ってこれらの機能はどんどん変化していきます。このようなこどもの特性を十分に知った上で手術前後の治療をしなければなりません。あらゆる面でおとなの常識は通用しません。これが小児外科が独立した大きな理由です。またこどもは精神的・心理的にも発育の途上にあり、手術という、こどもにとっては大きな試練を無事に乗り切るための心理的な援助に関して小児外科医は考えています。

現在、多くの外科領域では臓器別診療の流れがあ



大津主任部長

ります。しかし小児外科では、こどもの頸部、心臓を除く胸部、腹部のほぼすべての外科的手術を必要とする病気を担当します。1000グラムにも満たない未熟児から思春期の中学生まで、また取り扱う疾患は消化器疾患、呼吸器疾患、泌尿器疾患、生殖器疾患、など多岐にわたります。よく言われる言葉ですが、こどもは大人のミニチュアではありません。こどもの将来を見据えた、こどもの特性に応じた手術を選択するように心がけています。

最後に、小児外科として心がけていることを教えてください。

当院の成育医療センターとしては新生児科と連携した未熟児に対する外科治療、また産科、新生児科と連携した出生前診断例に対する新生児期外科治療、小児科、小児腎臓科と連携した小児泌尿器疾患治療などがあります。麻酔科を含む関係各科とコラボレーションして治療を行うことを心がけています。これらの病気の中には小児期に治りきらずに思春期や成人になってもなお経過観察や治療が必要となるものもあり、その際は成人を診療する各科の外科医と連携をとりながら、より質の高い診療を行っています。

参考文献:日本小児外科学会HP



小児外科医師スタッフの皆さんです

外科医の独り言

no.15

なぜ女は長生き?

日本はもちろん、世界各国どこでも平均寿命は女性の方が男性より3歳から7歳長いそうです。そういえば男女出生比率から見ると男性の方が多いというのも世界共通のようです。日本ではその比率は女児100に対して男児105で、昔からあまり変わっていません。なぜ男の方が多いのでしょうか?まさか、長生きできないから生まれる数だけでも増やしておこうという自然の摂理なのでしょうか。50歳までは男性が多く、それ以降男女比が逆転して85歳以上の7割は女性です。老人ホームや老人福祉施設に入っている人の7割が女性です。では、なぜ女性の方が長生きなのでしょう?

3大死因のがん、脳卒中、心臓病が男性に多いので当たり前と言えばその通りなのですが、昔から様々な説があります。たとえば筋肉質の男性に比べて脂肪の多い女性は基礎代謝量が少ないという女性省エネ説。男性は太くて短いロウソクでパッと燃えるのに対して女性はチロチロ燃える細くて長いロウソクということでしょうか。次に女性ホルモン説。女性ホルモンのエストロゲンには動脈硬化の防止作用があります。確かに脳卒中、心筋梗塞で亡くなる確率は男性の半分です。しかし女性ホルモンは閉経後に急激に低下するので女性ホルモンの恩恵は若いうちだけということでしょうか。最近、女性ホルモン説は否定されているようです。

最も有力な説明は環境、生活習慣説です。喫煙率、飲酒率が男性に高く、その悪影響についてはいまさら言う必要もありません。昔から男は外で働き、女は家を守る、男は一步外に出ると7人の敵がいると言われてきましたが、果たしてストレスが短命の原因なのでしょうか?最近

は働く女性も多く女性にも外に出ると7人の敵はいるはずですよ。男性の方が女性に比べてストレスが多いのでしょうか?おそらく男性の方がストレスに弱いのか、ストレス発散の仕方が下手なのでしょう。会社帰りに呑み屋に寄ってくどくど説教したり愚痴をこぼしているのと、ケーキを食べながらべちゃくちゃおしゃべりするのとどちらが健康に良いのでしょうか。井戸端会議は女性専用で、休日に近所の旦那が集まって井戸端会議をしているのは見たことがありません。買い物も女性の得意分野です。私は買い物に付いていくことは滅多にありませんが、付いて行っても後ろをトボトボ歩くだけです。妻が発散した部分のストレスを請け負っているだけかもしれません。女性が長生きなのは食事を作って体に良いものをつまみ食いするからだという人がいますが、それはないにしてもつまみ食いはストレス発散になっているのかもしれない。ストレスの原因を怒る上司やできない部下のせいにする人がいますが、最近の研究ではストレスの感じ方は、体質、遺伝子で決まっている可能性が高く、どうも自分自身にあるようです。ひとのせいにははいけないみたいです。

実は、女性が長生きだということはなにも人間の世界だけでなく動物の世界でもメスのほうが長生きだそうです。ということはもはや短命は男、オスの宿命なのです。



副院長(消化器・乳腺・移植外科主任部長) 板本敏行(いたもと としゆき)

部署紹介

診療情報管理室

患者さんにより良い医療を受けて頂けるように、治療情報の記録・管理を行っています。

診療情報管理室は診療記録(入院カルテ・外来カルテ・病歴情報など)を統括管理する診療支援部門です。診療記録の管理と共に蓄積された診療情報から必要時に情報を提供することで、病院における診療業務の充実を図り、また医学教育及び研究に寄与することを目指しています。

具体的には、入院診療記録(カルテ)の記載内容の点検、データ入力、それらをもとにしたデータの提供、カルテ開示対応、統計

作成、および過去20年分十数万冊の入院・外来カルテの貸出管理などを行っています。また診療記録からがん患者さんのデータを収集・登録・管理を行い、国の政策事業として「院内がん登録」、県の基幹病院として「地域がん登録」という作業を行っています。これらの情報は全国から集められ、がん治療法の検討や実績評価に使用され、その結果は公開され全国どこにいても標準的な治療が受けられるよう活用されています。直接、患者様とかかわる部署ではありませんが、皆様により良い医療を受けていただけるよう日々記録・情報の管理を行っています。



診療情報管理室のスタッフです

院内活花展



中央ホールのエスカレーター上り口にて

当院の華道クラブでは、毎年11月に展示会を開催しております。患者さんやお見舞いに来られた方にも好評を頂いております。これからも素敵な時間を提供できるよう工夫してまいりますので、院内で、季節を感じてみてください。



つい足が止まります



もみじを散らして秋をイメージした作品です